

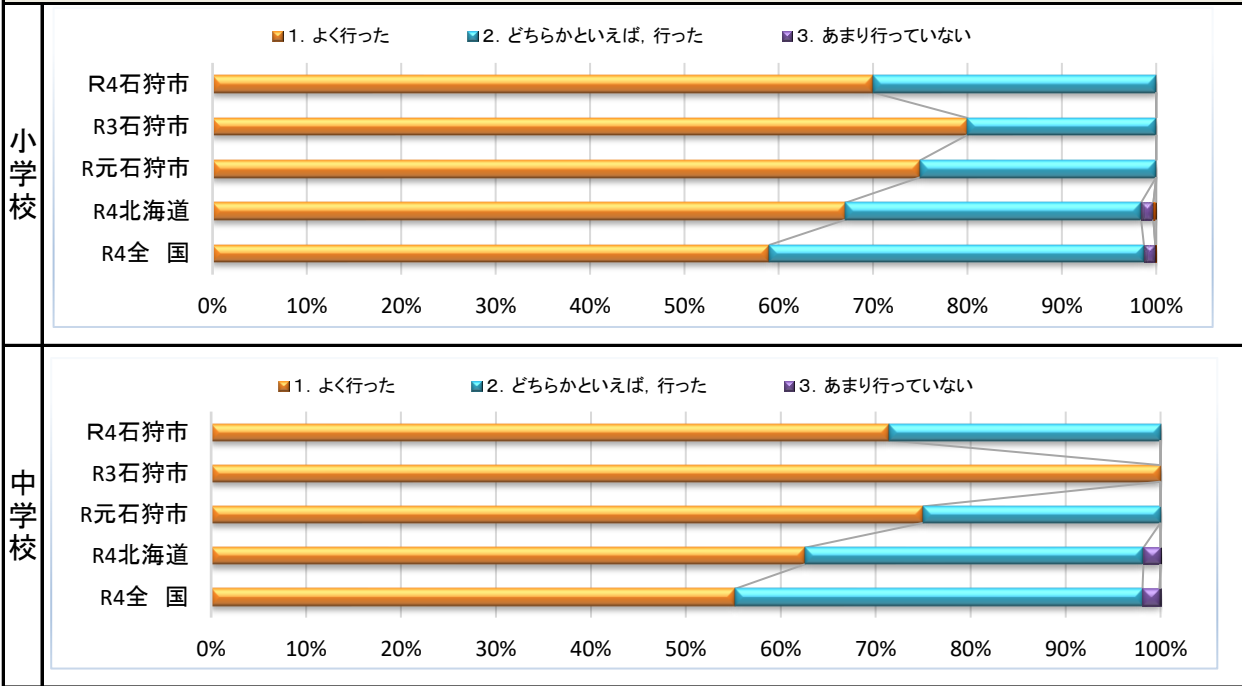
令和4年度 学習状況調査〔学校質問紙〕より

I 生徒指導等

○おおむね落ち着いた学習態度であるが、児童・生徒のよい点や可能性を評価（褒めるなど）や自己肯定感・自己有用感を育成する指導等の継続が大切

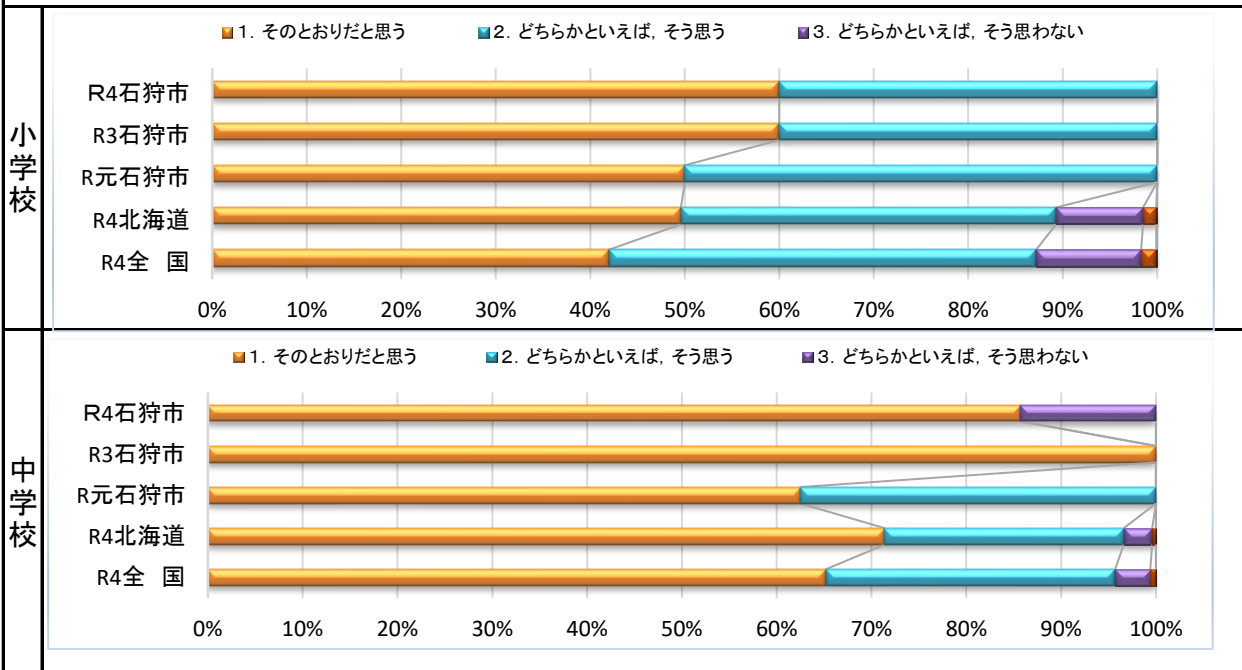
・「学校生活の中で、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する取組をよく行った」割合は、小学校で70.0%(全国比+11.0ポイント, 全道比+2.9ポイント)で、中学校では、71.4%(全国比+16.2ポイント, 全道比+8.8ポイント)でした。

1. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか



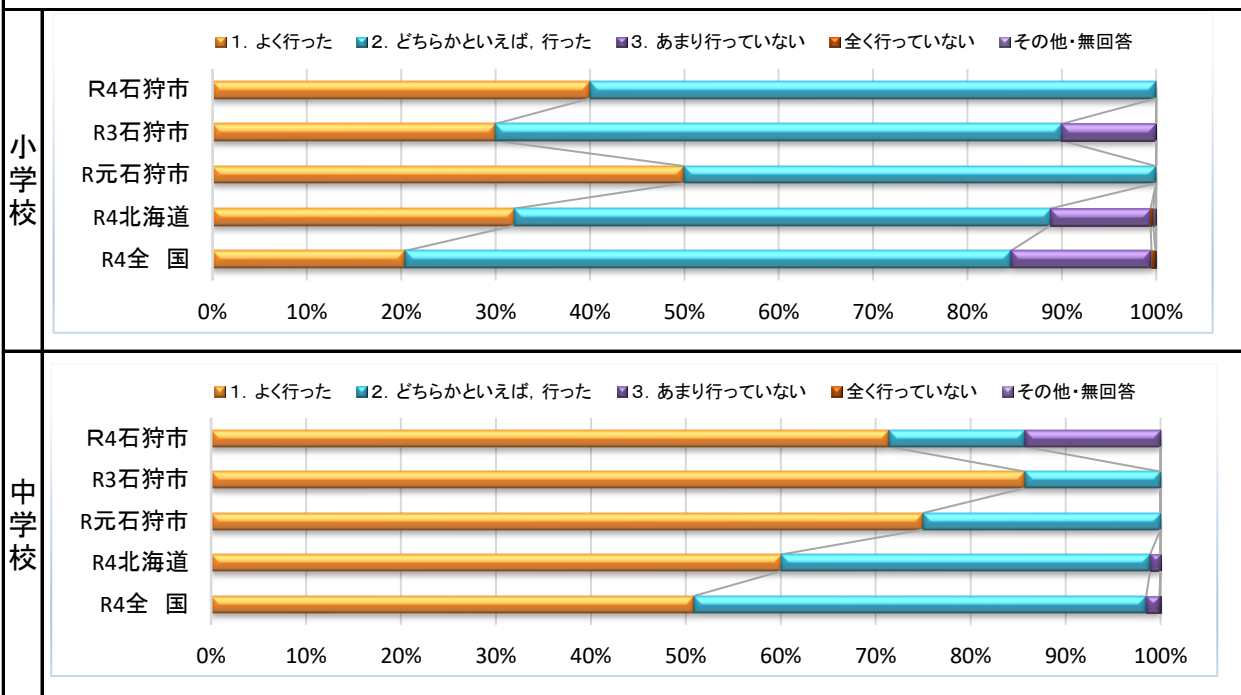
・「私語がなく落ち着いていると思う」割合は、小学校で60.0%(全国比+18.0ポイント, 全道比+10.4ポイント)で、中学校では85.7%(全国比+20.6ポイント, 全道比+14.3ポイント)でした。

2. 調査対象学年の児童・生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



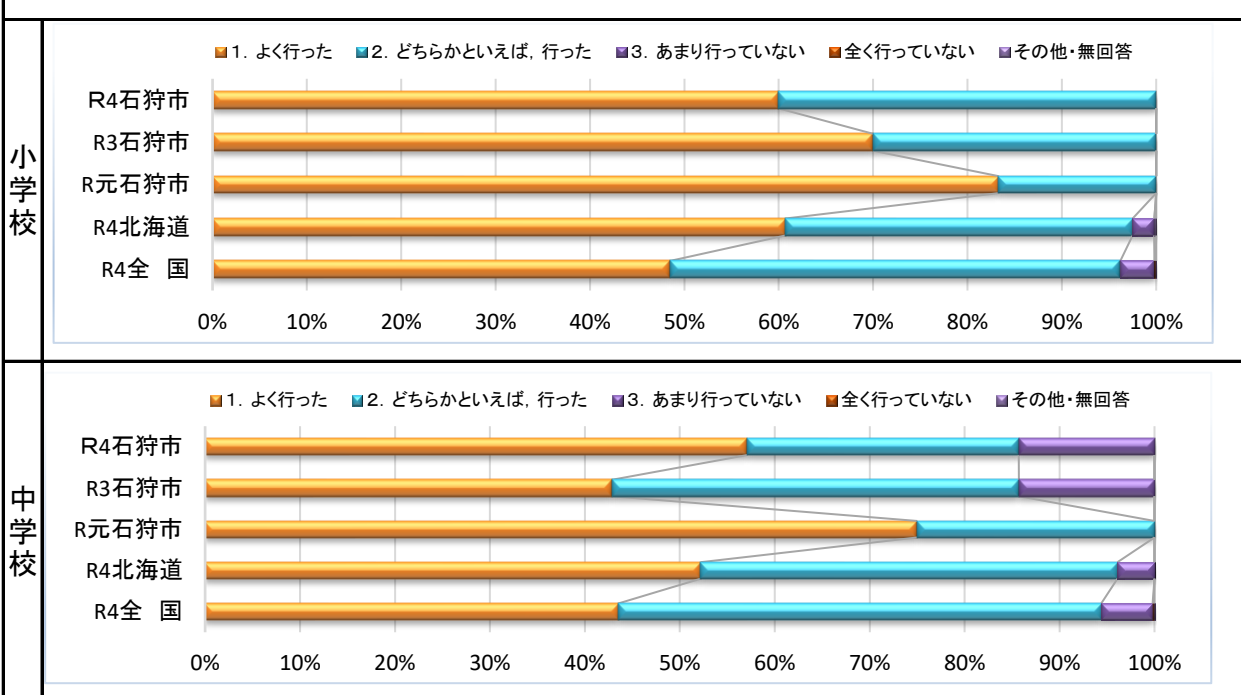
・「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をよく行っている」割合は、小学校で40.0%(全国比+19.6ポイント, 全道比+8.0ポイント)で、中学校では71.4%(全国比+20.5ポイント, 全道比+11.3ポイント)でした。

3. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行いましたか



・「学級全員で取り組む課題やテーマを与える取組をよく行った」の割合は、小学校で60.0%(全国比+11.5ポイント, 全道比-0.7ポイント)で、中学校では57.1%(全国比+13.6ポイント, 全道比+4.9ポイント)でした。

4. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

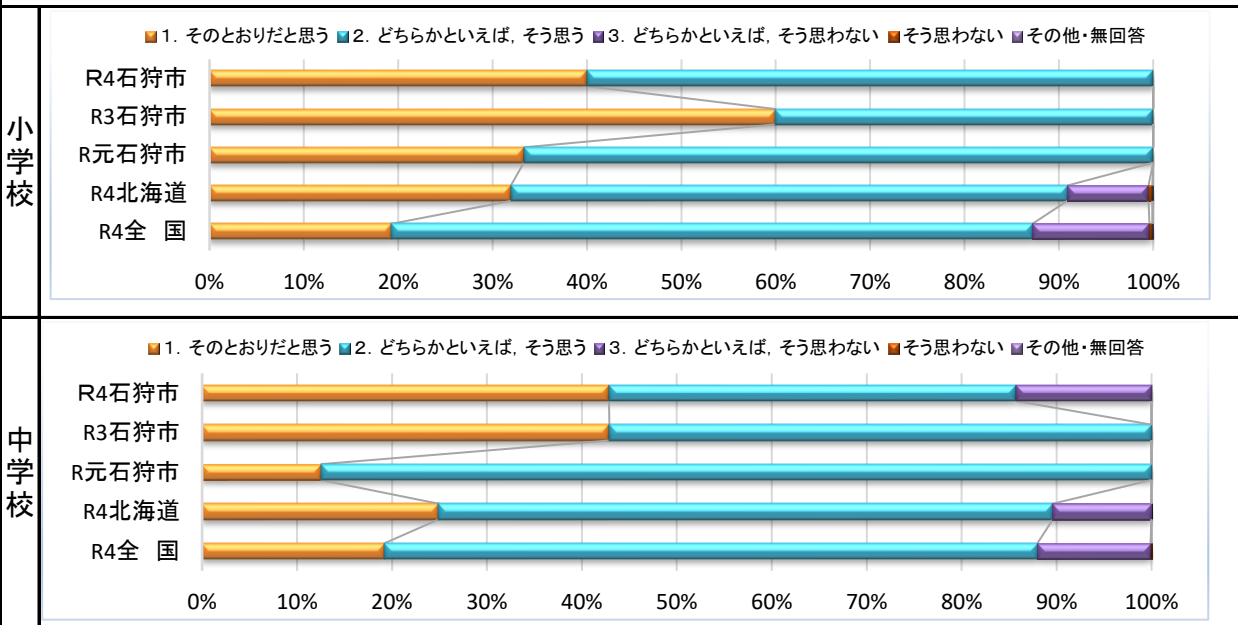


II 学習指導・授業改善の取組

- 主体的・対話的で深い学びの視点から、授業改善に関する取組の継続が大切
- ICT機器の使用は、小学校・中学校ともに積極的に活用

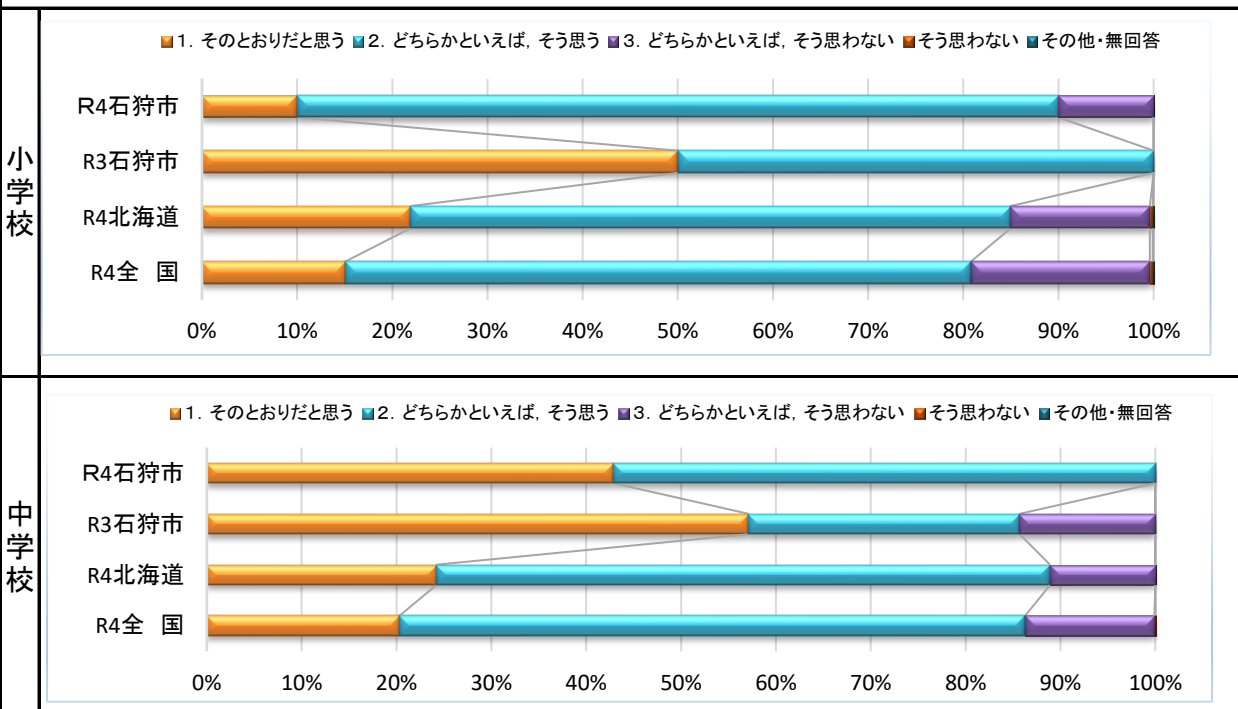
・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができると思う」割合は、小学校で40.0%(全国比+20.7ポイント, 全道比+8.1ポイント)で、中学校では42.9%(全国比+23.7ポイント, 全道比+18.0ポイント)でした。

5. 調査対象学年の児童・生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか



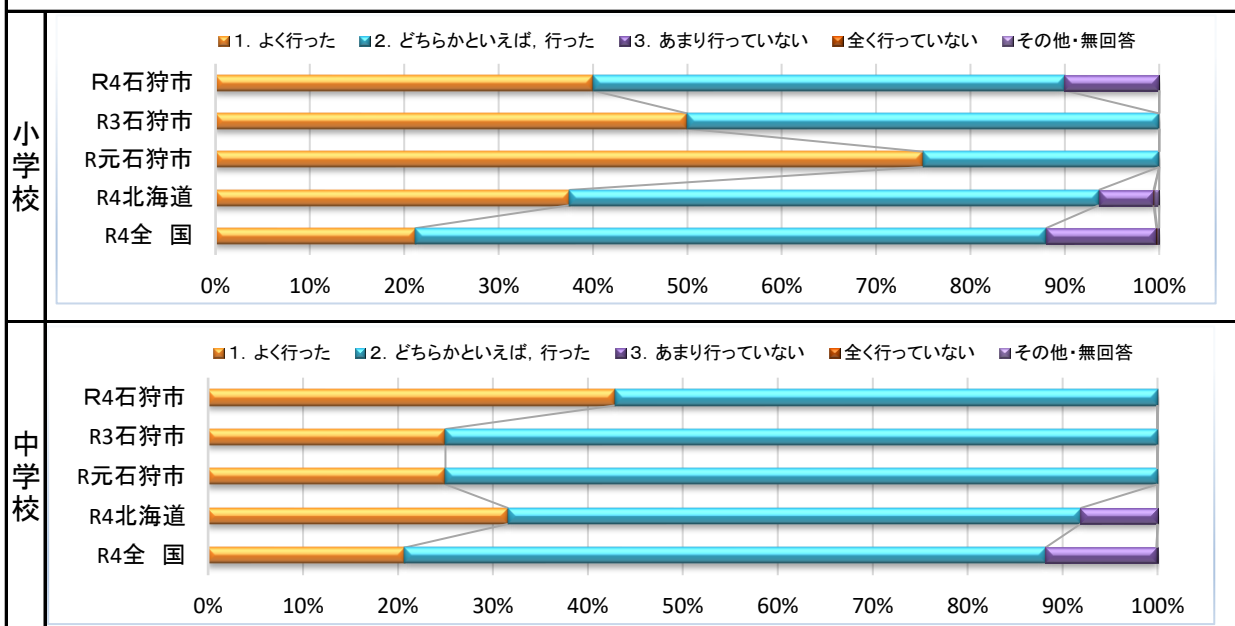
・「学級やグループでの話し合い活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う」割合は、小学校で10.0%(全国比-5.1ポイント, 全道比-11.9ポイント)で、中学校では42.9%(全国比+22.6ポイント, 全道比+18.7ポイント)でした。

6. 調査対象学年の児童・生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



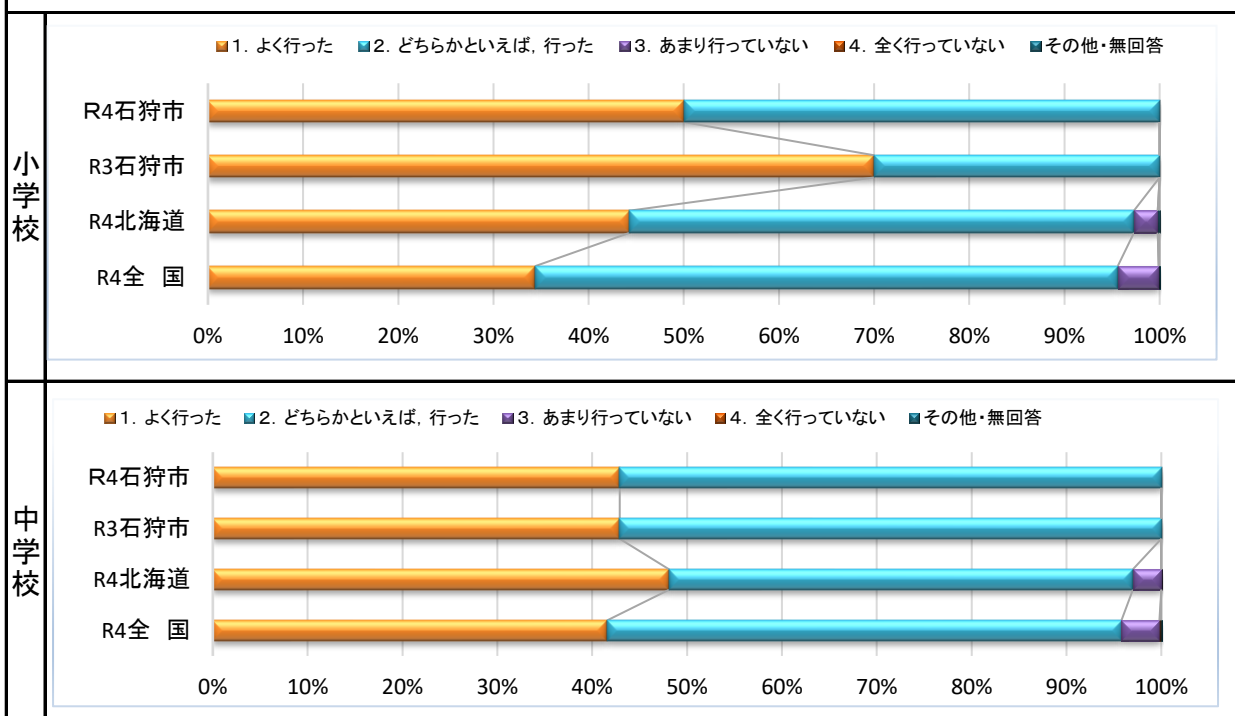
・「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った」割合は、小学校で40.0% (全国比+18.8ポイント, 全道比+2.5ポイント)で、中学校では42.9% (全国比+22.2ポイント, 全道比+11.3ポイント)でした。

7. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



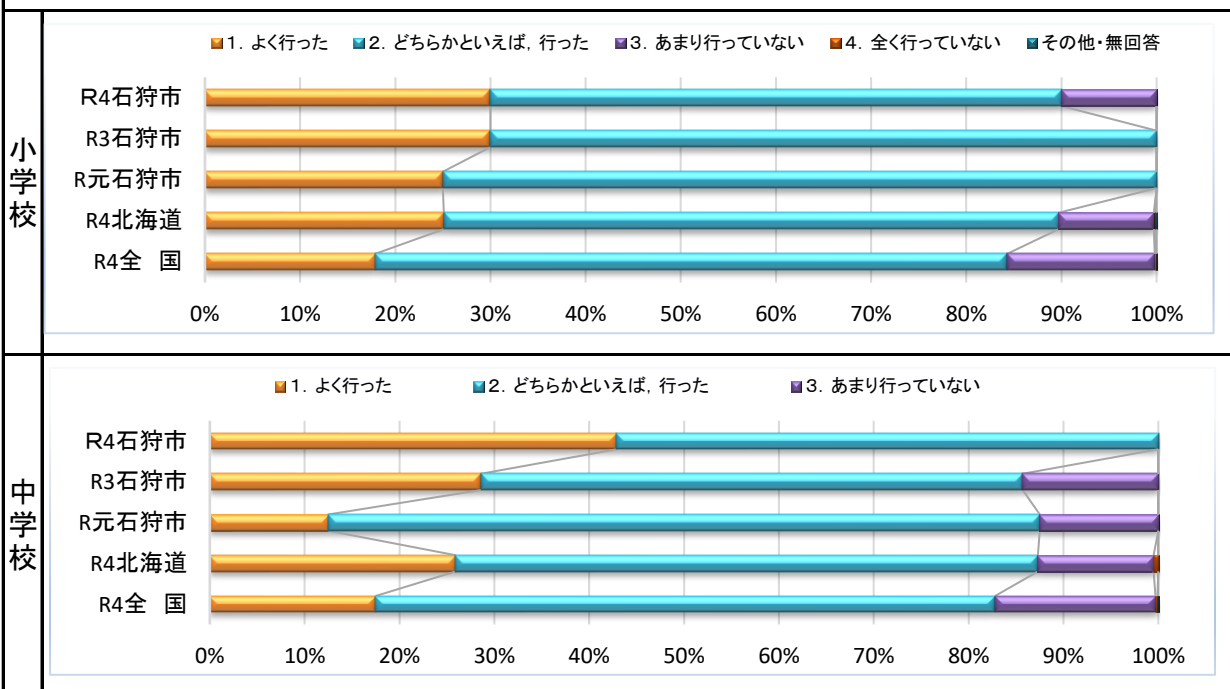
・「国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業をよく行った」割合は、小学校で50.0% (全国比+15.6ポイント, 全道比+5.7ポイント)で、中学校では42.9% (全国比+1.3ポイント, 全道比-5.2ポイント)でした。

8. 調査対象学年の児童・生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業を行いましたか



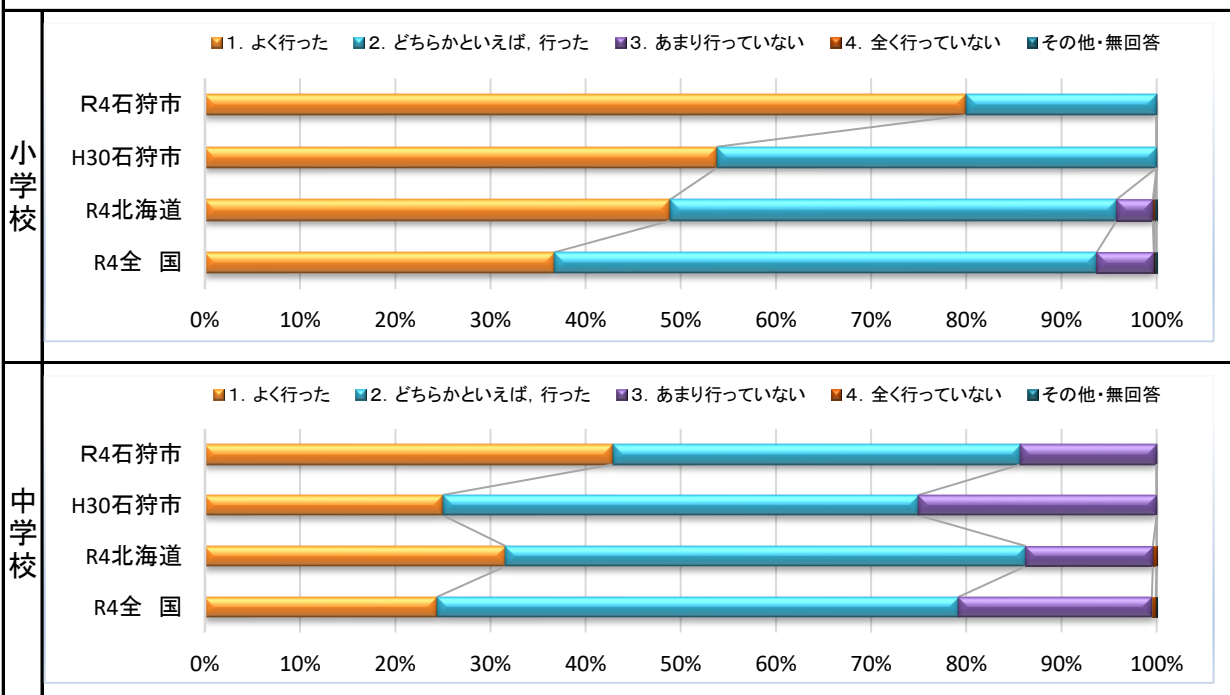
・「算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った」割合は、小学校で30.0%(全国比+12.1ポイント、全道比+4.9ポイント)で、中学校では42.9%(全国比+25.4ポイント、全道比+17.0ポイント)でした。

9. 調査対象学年の児童・生徒に対する算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



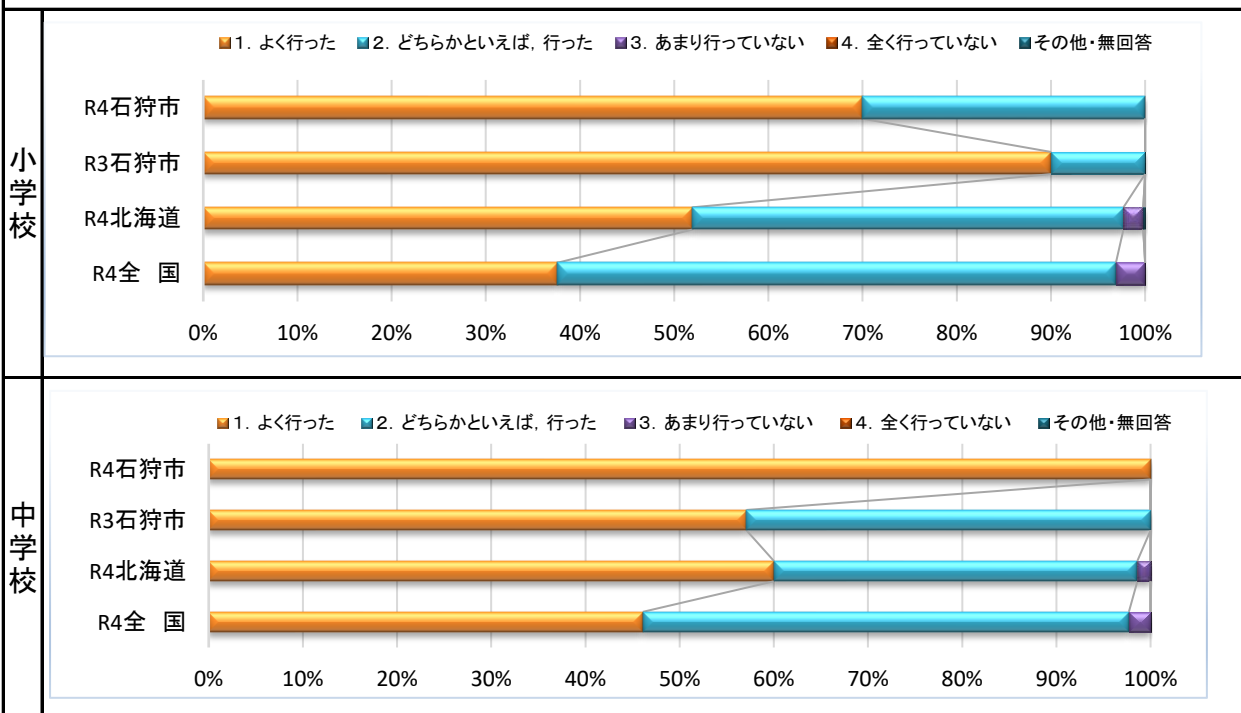
・「理科の指導として、前年度までに、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察・実験の計画を立てることができるような指導をよく行った」割合は、小学校で80.0%(全国比+43.2ポイント、全道比+31.1ポイント)で、中学校では42.9%(全国比+18.5ポイント、全道比+11.3ポイント)でした。

10. 調査対象学年の児童・生徒に対する理科の指導に当たって、前年度までに、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察・実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか



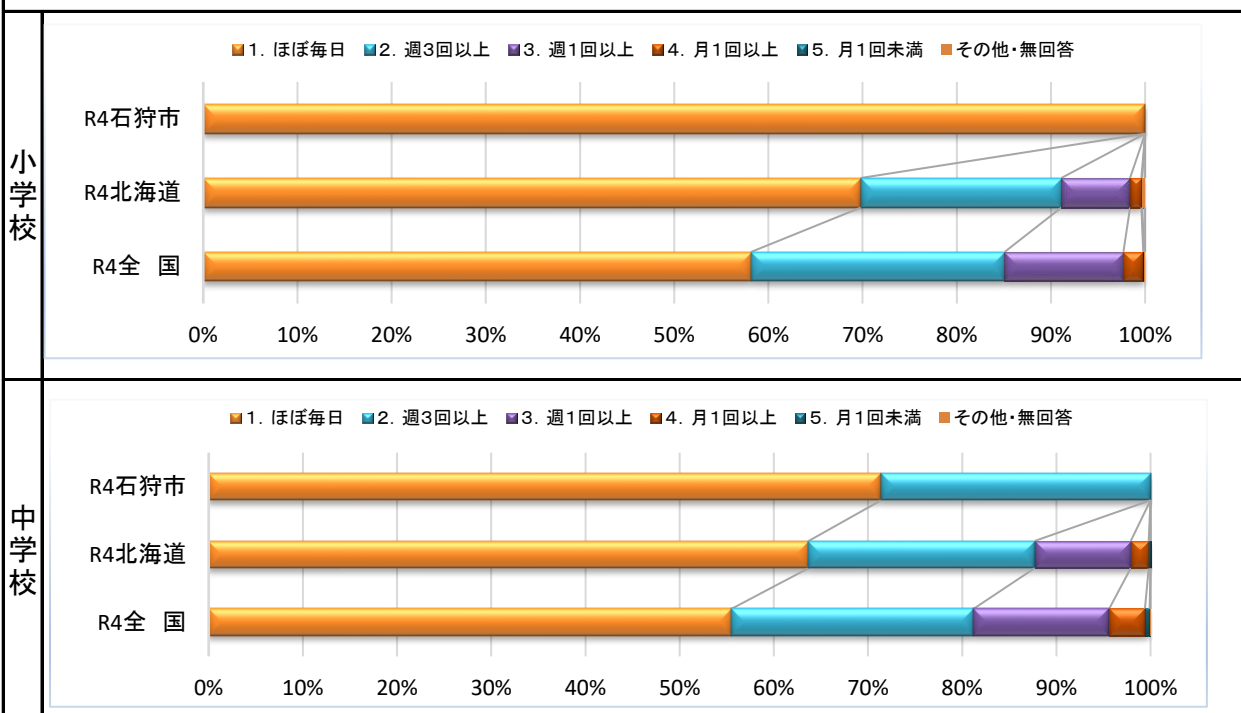
・「特別の教科 道徳において、児童生・徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をよく行った」割合は、小学校で70.0%(全国比+32.4ポイント、全道比+18.1ポイント)で、中学校では100%(全国比+53.9ポイント、全道比+40.0ポイント)でした。

11. 特別の教科 道徳において、児童・生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか



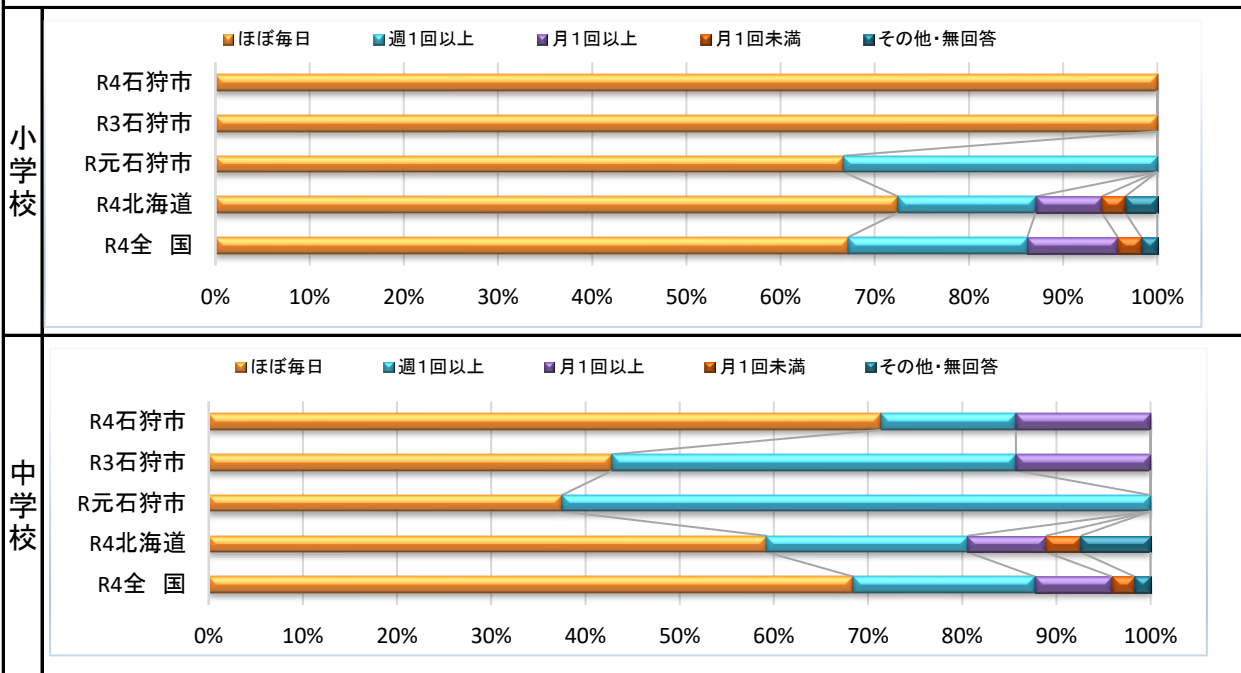
・「児童・生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用した」割合は小学校で100.0%(全国比+41.8ポイント、全道比+30.1ポイント)で、中学校では71.4%(全国比+15.9ポイント、全道比+7.7ポイント)でした。

12. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、児童・生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



・「教員が大型提示装置(プロジェクター, 電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラス当たりほぼ毎日行っていた」割合は小学校で100.0%(全国比+32.8ポイント, 全道比+27.6ポイント)で, 中学校では71.4%(全国比+3.0ポイント, 全道比+12.3ポイント)でした。

13. 調査対象学年の児童・生徒に対する指導において, 前年度に, 教員が大型提示装置(プロジェクター, 電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

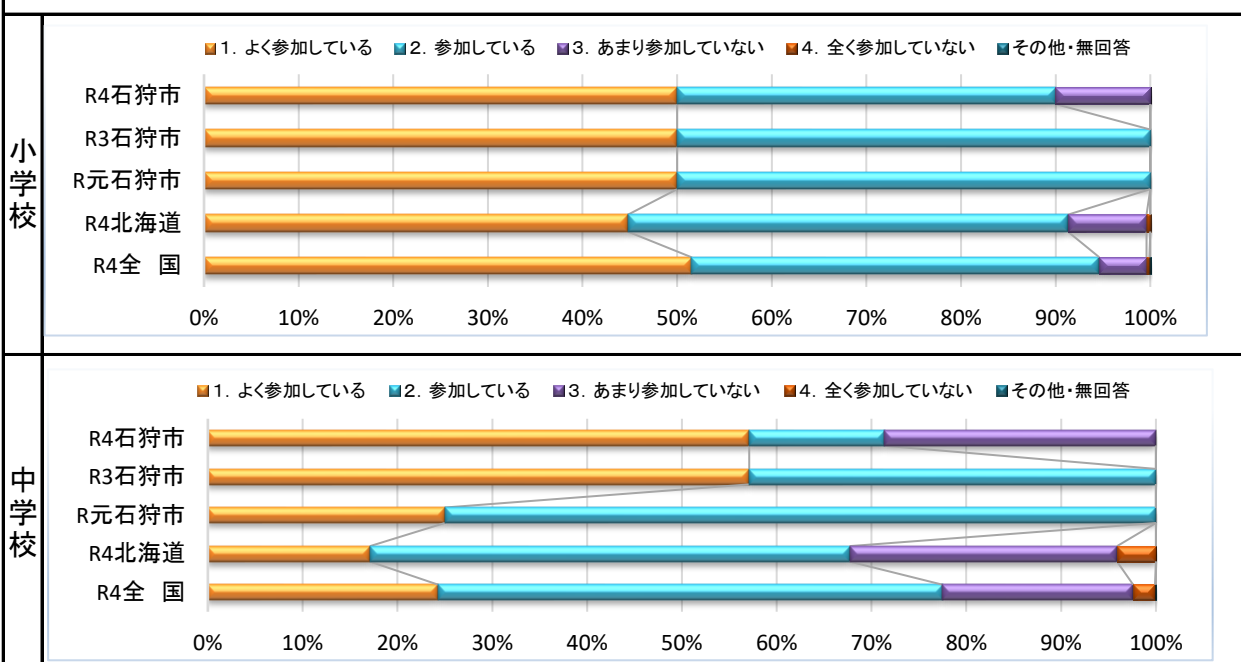


III 家庭・地域・小中学校間連携

○地域の人材活用や小中間の連携教育は, 小学校でやや停滞傾向が見られ, 中学校においては進展傾向が見られる
 ○コミュニティスクール制度の活用や幼保を含めた小中連携の取組が肝要

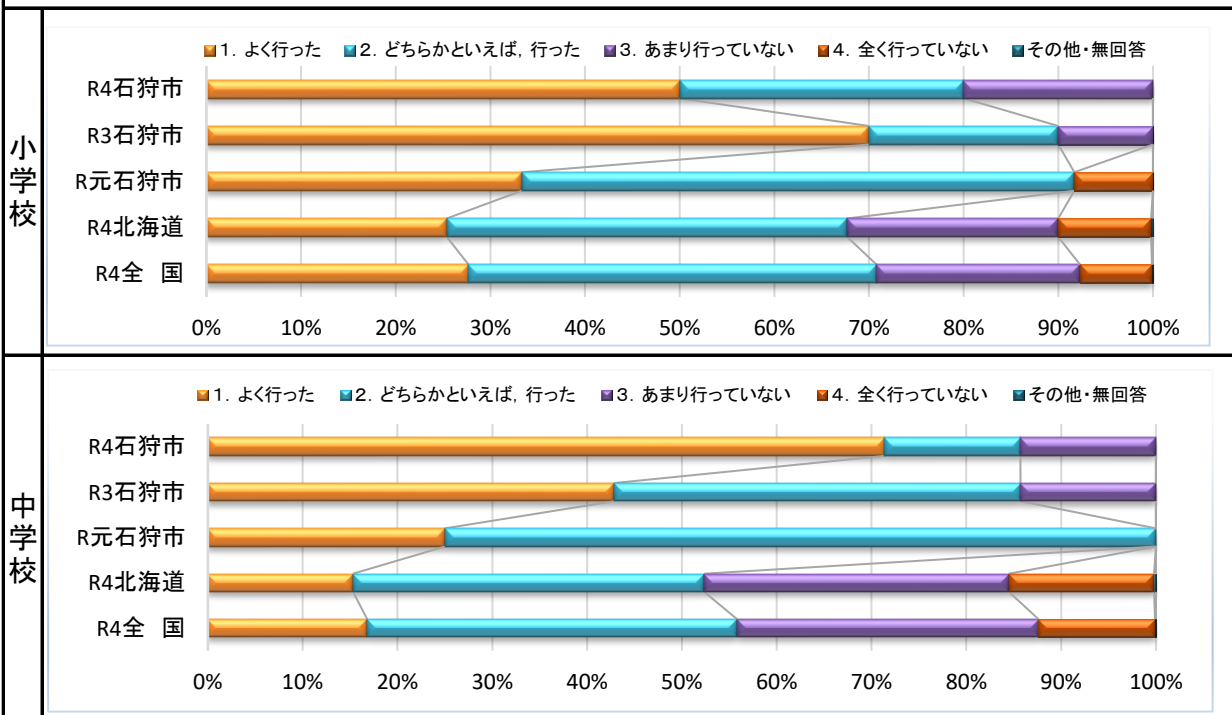
・「保護者や地域の人が学校の美化, 登下校の見守り, 学習・部活動支援, 放課後支援, 学校行事の運営などの活動によく参加している」割合は, 小学校で50.0%(全国比-1.5ポイント, 全道比+5.2ポイント)で, 中学校では57.1%(全国比+32.8ポイント, 全道比+40.0ポイント)でした。

14. 保護者や地域の人が学校の美化, 登下校の見守り, 学習・部活動支援, 放課後支援, 学校行事の運営などの活動に参加していますか



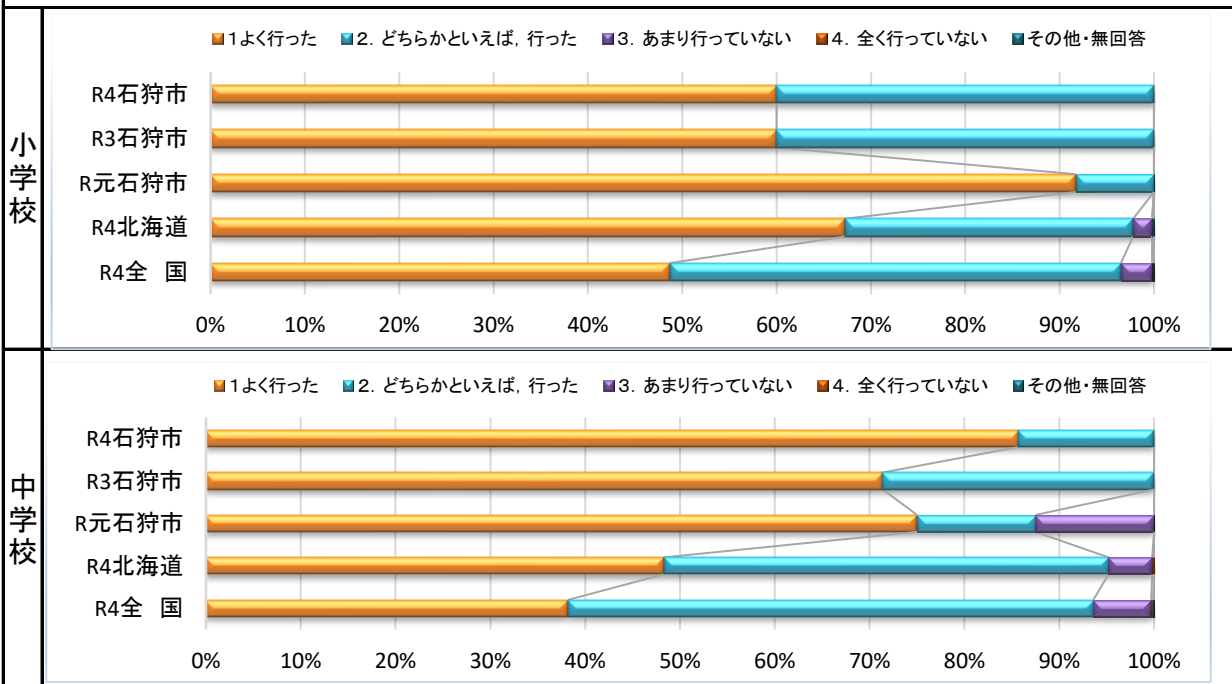
・「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域のひととの協働による活動をよく行った」割合は、小学校で50.0%(全国比+22.3ポイント, 全道比+24.6ポイント)で、中学校では71.4%(全国比+54.6ポイント, 全道比+56.1ポイント)でした。

15. 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域のひととの協働による活動を行いましたか



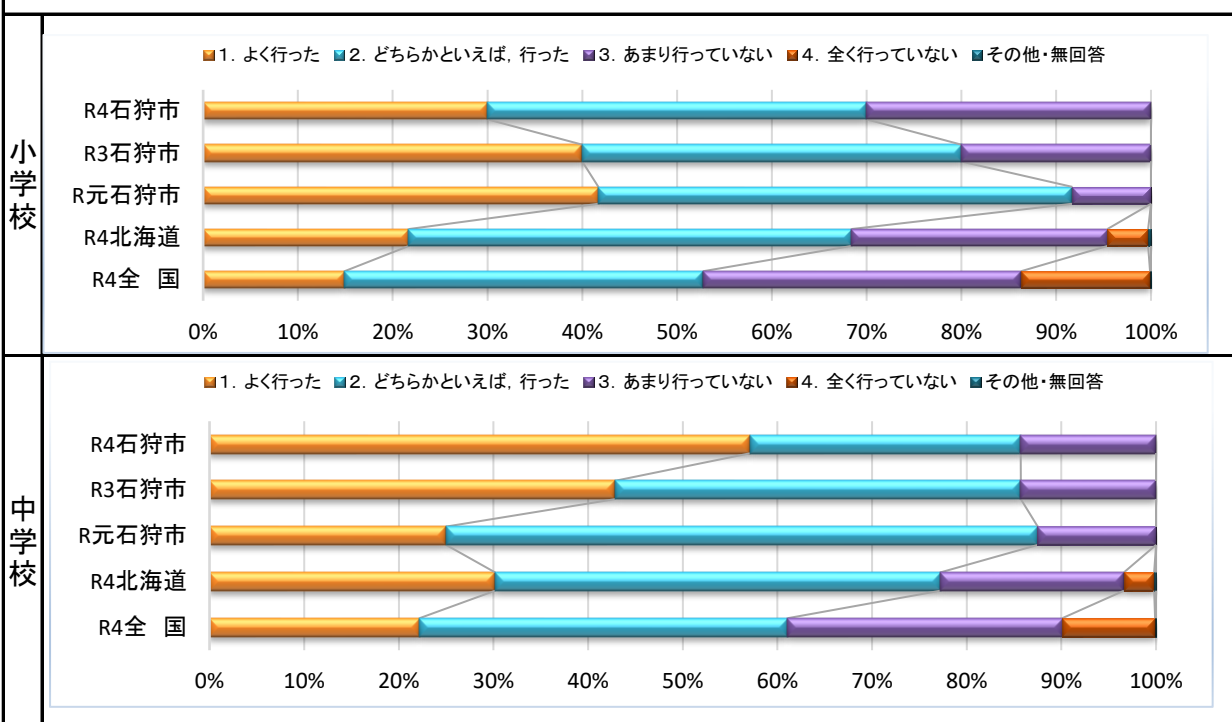
・「前年度までに、家庭学習の取組として、児童・生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしたことについて、よく行った」割合は、小学校で60.0%(全国比+11.3ポイント, 全道比-7.3ポイント)で、中学校では、85.7%(全国比+47.5ポイント, 全道比+37.4ポイント)でした。

16. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(教科共通)



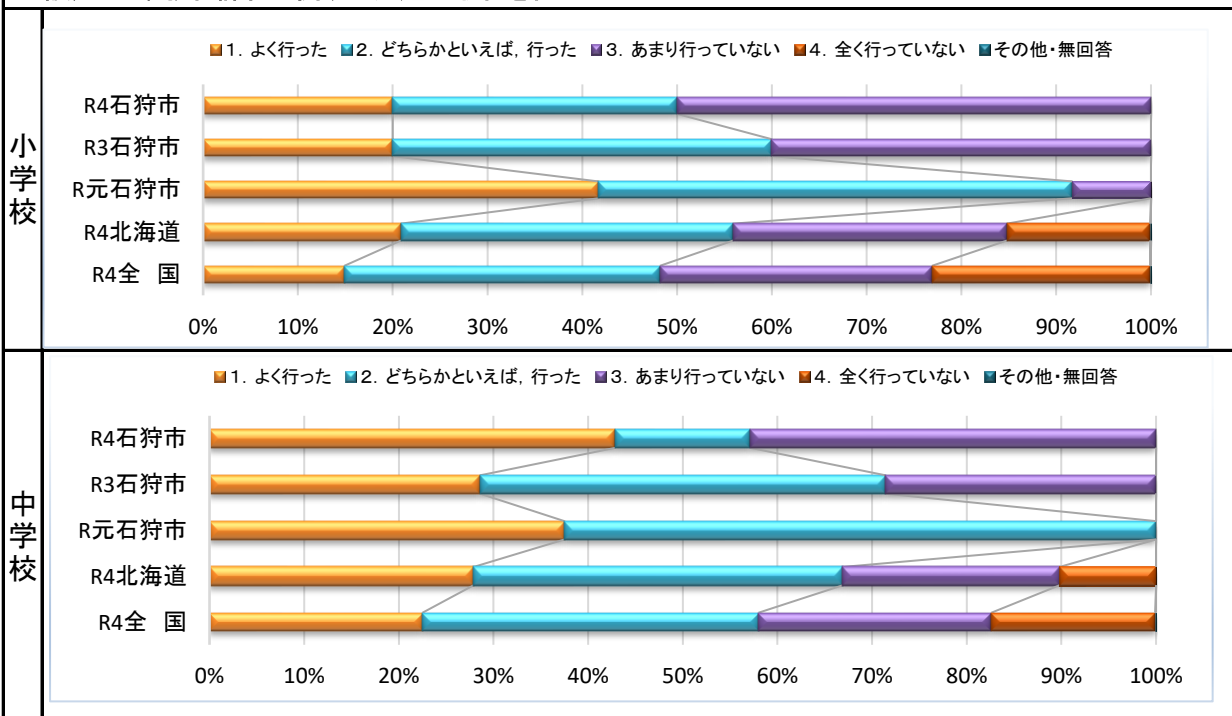
・「前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、授業研究を行うなど、合同して研修をよく行った」割合は、小学校で30.0%(全国比+15.1ポイント、全道比+8.3ポイント)で、中学校は57.1%(全国比+34.9ポイント、全道比+26.9ポイント)でした。

17. 前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか

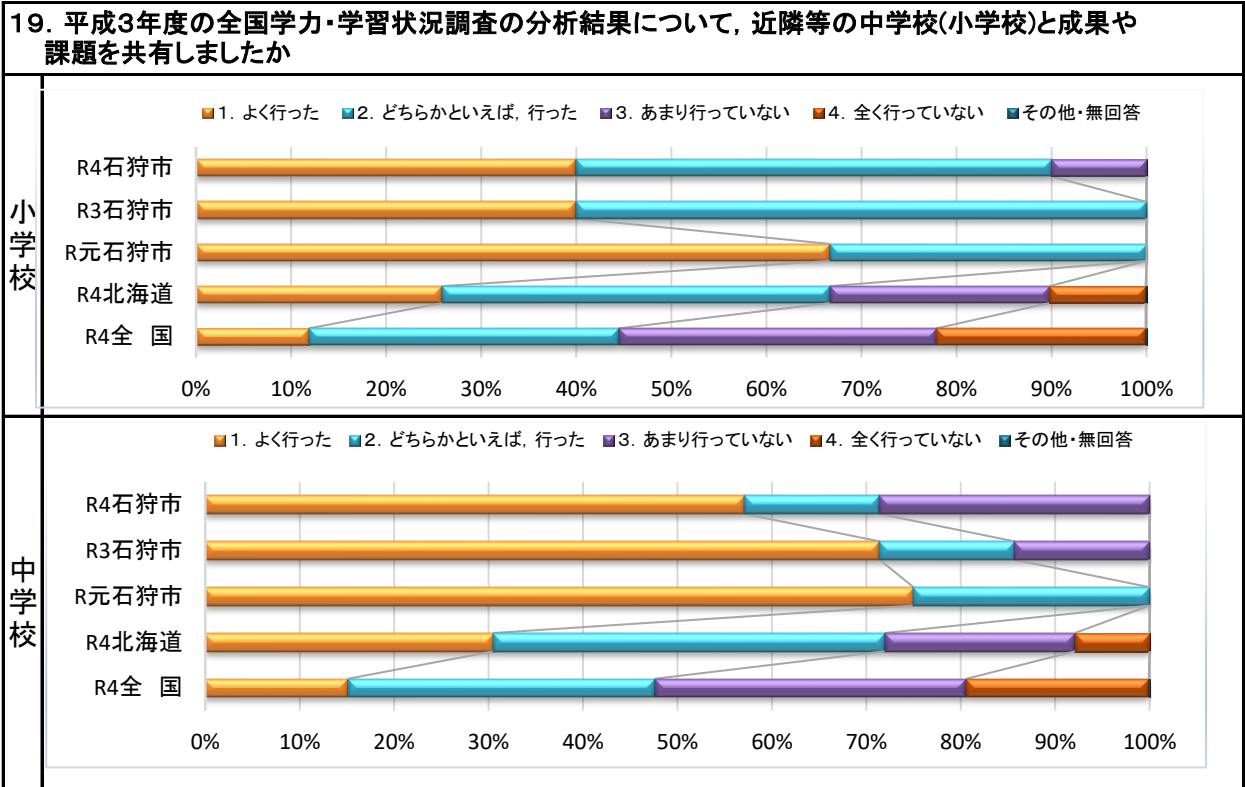


・「前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教育課程の接続や、教科の共通な目標設定など、教育課程に関する共通の取組をよく行った」割合は、小学校で20.0%(全国比+5.1ポイント、全道比-0.9ポイント)で、中学校は42.9%(全国比+20.4ポイント、全道比+15.0ポイント)でした。

18. 前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか



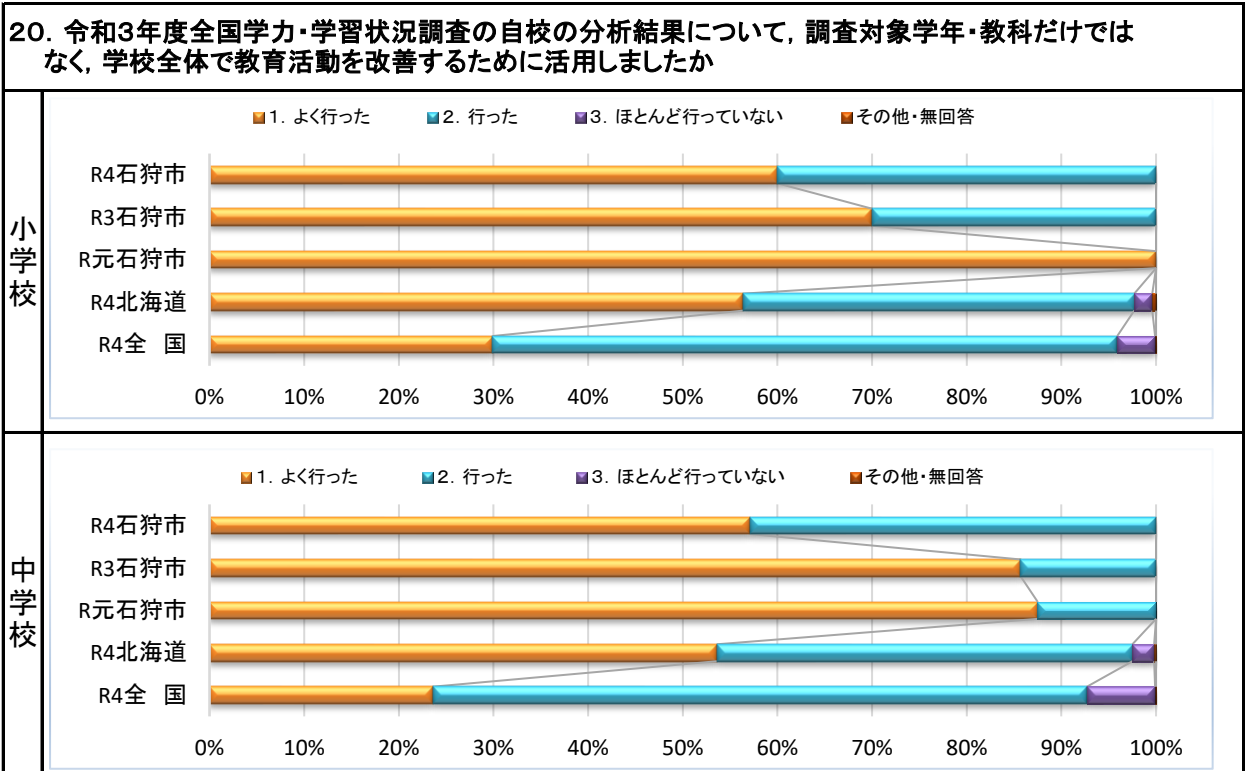
・「全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小・中学校と成果や課題の共有をよく行った」割合は、小学校で40.0%(全国比+28.1ポイント, 全道比+14.1ポイント)で、中学校では57.1%(全国比+42.0ポイント, 全道比+26.6ポイント)でした。



IV 全国学力・学習状況調査の結果の活用

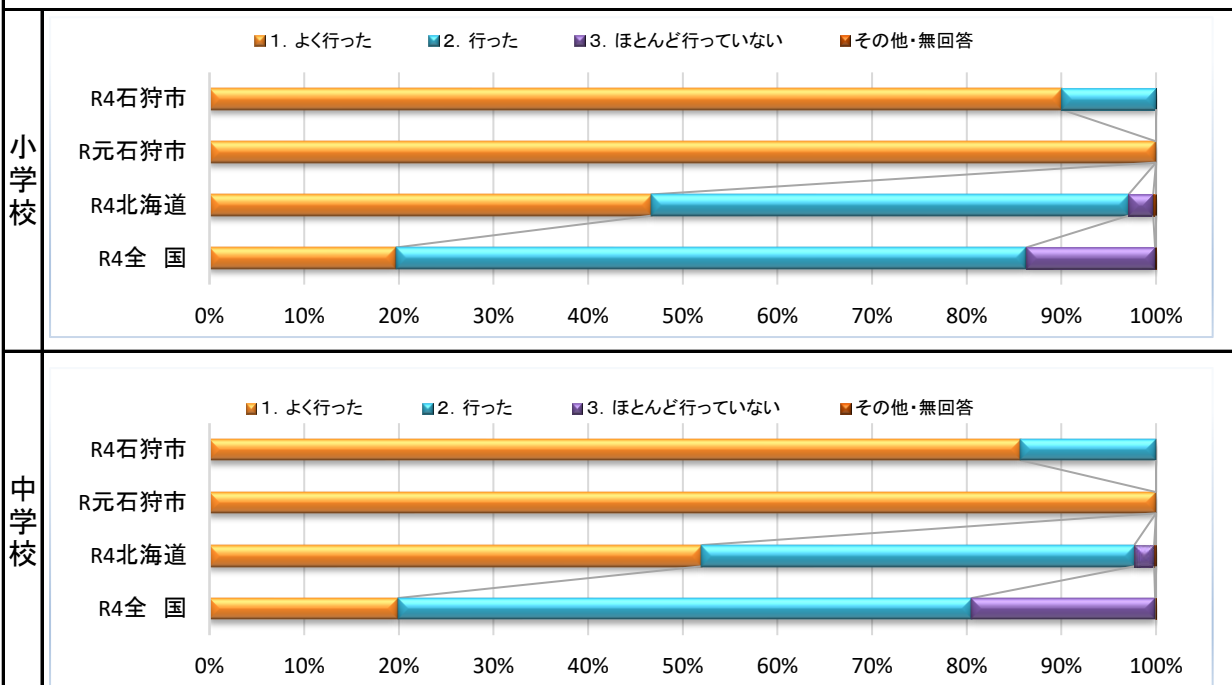
○調査結果を積極的に活用し、教育活動の改善等に取り組んでいる

・「令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するためによく活用した」割合は、小学校で60.0%(全国比+30.1ポイント, 全道比+3.6ポイント)で、中学校では、57.1%(全国比+33.5ポイント, 全道比+3.5ポイント)でした。



・「令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った」割合は、小学校で90.0%(全国比+70.3ポイント、全道比+43.3ポイント)で、中学校では、85.7%(全国比+65.8ポイント、全道比+33.7ポイント)でした。

21. 令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)



・「全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか」の割合は、小学校で60.0%(全国比+30.3ポイント、全道比+10.2ポイント)で、中学校では、85.7%(全国比+62.1ポイント、全道比+41.6ポイント)でした。

22. 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか

